



新しい時代に対応した高校を目指して!!

国の中央教育審議会が1月26日に『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』という答申を出しました。その中で「新時代に対応した高等学校教育等の在り方」として、これからの高校教育についての提言があります。令和4年度から始まる新しい学習指導要領で話題となった「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実現に向けて、高校教育では普通科や専門学科の魅力化や特色化を推進することが求められています。

中でも普通科は、これまで「普通科」という大学科での括りでしたが、今回の答申では「学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科」や「学校が立地する地元市町村を中心とする地域社会が抱える諸課題に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、実践的な学びに重点的に取り組む学科」などの小学科を設置することが提言されました。また水産科が含まれる専門学科については、「地域の産官学が一体となり、将来の地域産業界の在り方を踏まえて、専門学科での人材育成を行うことが必要」とされました。

このように今回の答申は、これまでの本校の取り組みを是認するものになっています。本校では、すでに何度か紹介したとおり地域と連携した取り組みを教育活動全般にわたり実施しています。普通科の「那珂川学」は地域社会が抱える課題に重点的に取り組んでいますし、水産科は町役場や町内の企業と連携して将来の地域の産業人を育成しています。特に普通科は、答申が示す「地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科」の取り組みを先進的に実践していると言えます。今後は、答申の内容をさらに取り入れて、地域と連携した取り組みが本校の特色としてより高まるようにしていく予定です。

【フォトギャラリー】本校の特色ある取り組み



マイプロジェクト
スタートアップキャンプ



進路指導
職人の集い



普通科選択科目
「農業と環境」